

やすらぎ短信

令和5年
5月号

端午の節句



五月五日は、「こどもの日」です。国民の祝日であり「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」ための祝日となっております。この日は元々、五節句の中の一つ「端午(たんご)の節句」の祝日であり、この日には、古来より武者の人形を飾り、菖蒲やちまきや柏餅をお供えし、子どもの健やかなる成長をお祈りする風習があります。また、外には、「鯉」が滝を登り切って「竜」になったという故事から、「立身出世」を願って、鯉のぼりをあげる風習もあります。子は一家の宝、国の宝です。子の成長を祈る風習は、いつまでも大切にしたいですね。

浦幌神社の鯉のぼり



去る四月二十七日、毎年恒例の鯉のぼりが境内にあがりました。この取り組みは、平成二十七年より続けている行事です。今では住宅や近所との事情により、鯉のぼりをあげる家が少なくなってきたこともあり、地元はもとより町外からも元気な子どもたちが遊びにきてくれます。五月五日の夕方まであげておりますので、どうぞ、お子様、お孫様と一緒に、お参りがてら見にきてください。なお、ご自宅に眠っている鯉のぼりがございましたら、当社へご奉納ください。代わりに毎年上げさせていただきます。

浦幌神社春季祭のご案内

本年も浦幌神社春季祭を左記の通り斎行致します。あらゆる産業の繁栄と氏子皆様の安寧をお祈り申し上げます。式典では、浦幌神社神楽舞月姫会による神楽舞の奉納もございます。また、四年ぶりに子供向けの余興も開催致します。ご家族お揃いでのご参列をお待ち致しております。

日時 五月二十日(土)

●余興 午後四時～五時

餅まき・お菓子まき

神社〇×クイズ

※境内で開催、雨天時は社殿

●式典 午後五時三十分

●神楽舞 午後六時より



乳神神社春季祭の「ご案内」

乳神神社春季祭を左記の通り斎行致します。

日時 令和五年五月二十一日（日）
受付 午前十時三十分より
式典 午前十一時より

ご神体の鎮まるご本殿の御扉をお開きし、各種ご祈願を致します。

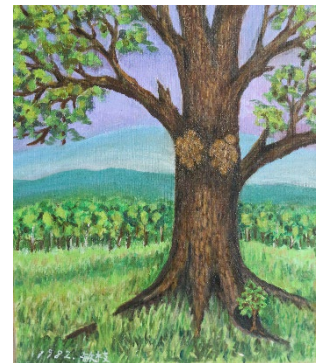
- ・健康祈願
- ・病気平癒祈願
- ・子授け祈願
- ・安産祈願
- ・良縁祈願
- ・その他祈願

※玉串料 三千円より



乳神様のお話 第一話

「乳神神社とは？ 乳神様とは？」



奉納 菅原敏枝様
「記憶の乳神様の木」

浦幌神社の境内には、「乳神神社」(ちちがみじんじゃ)、通称「おっぱい神社」と呼ばれている神社があります。そこには、乳神様(ちちがみさま)と呼ばれている神様がおります。正式な御神名は、乳授媛大神(ちちささずけひめのおおかみ)といえます。なぜ、おっぱいの神様が浦幌神社に？と不思議に思われる方も多いためと思えます。この乳神様の正体とは、女性の乳房に似たコブをもつナラの大木のご神木で、乳神様と呼ばれるようになりました。このご神木の一番近くに住んでいた菅原敏枝様よりご奉納いただいた、題名「記憶の乳神様の木」の油絵(昭和五十七年奉納)をご覧いただくと

解りやすいと思えます。乳神様のお姿を後世に伝える唯一の資料です。現在、このご神木のコブが浦幌神社の境内の乳神神社でおまつりされております。

お守りの「ご案内」

「交通安全鐵馬御守」

オートバイを運転される方の交通安全の御守りです。色は「金色」と「銀色」の二色。濡れても大丈夫、ビニールで包んで奉制しております。(初穂料一〇〇〇円)



浦幌神社行事予定

五月一日	月次祭
五月十五日	月次祭
五月二十日	浦幌神社春季祭
五月二十一日	乳神神社春季祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八